

平成29年度 戸倉小学校 教職員 非違行為防止研修 その1

戸倉小学校では、平成29年度は

- 子ども、保護者、家族の事を念頭に置いて、自らの言動を律する強い気持ちを持つ。
 - 教職員同士が心を開き、わかり合い批評し合うことのできる関係を築く。
- を目標に、4月から非違行為防止研修を進めてきています。

4月 飲酒運転を絶対にしないこと、交通法規遵守についてそれぞれが誓いを行いました。

校長先生から非違行為防止について基本的な指導がありました。スクールセクハラについて、チェックシートで振り返りました。

5月 学校の情報化に『必要な情報セキュリティ』について、イラストを見て、どこから情報が漏れてしまうのかを考えて、自分の教室や職員室の環境について考え合いました。

6月 交通事故・交通法規の違反の様態と、その標準量定の資料を読み、どのような処分になるのかを確かめました。

7月 体罰に至ってしまう危険がありそうな場面について、役割分担をしてロールプレイングを行い、考えあいました。

《場面》

日頃から生活が乱れがちなAさんに注意したB先生が強い口調で注意したところ、「うるせえ！くそじじい！」とバカにされたように言い返されました。B先生はしっかり指導しようと、Aさんと廊下に出ました・・・。
あなたなら、どうしますか。また、この場面に遭遇したとき、どんな対応をしますか。

<先生方の感想>

- ・ B先生の立場であれば、Aの言動に腹を立てるのもわかるが、クールダウンしていかないといけないと感じた。
- ・ 何を言えば、Aさんの心が動き、Aさんがよりよく生活できるのかを考えるのは難しかった。
- ・ 実際にやってみることで、自分が大事にしていることや見落としていたことがよくわかった。子どもの困り感に寄り添える教師でありたい。
- ・ その子の本当の気持ちを理解することが大事。教師が本気か、本気ではないかは、見抜かれるので、ガチで向き合うことが本当に大事。
- ・ 売り言葉に買い言葉で話しても、進展、解決とはいきにくい。心を落ち着けて対応することが大切だと思った。
- ・ ロールプレイングをしてみると、実際に自分がその場に居合わせたときには直接声をかけられない気がしました。
- ・ 子どもたちが反発するような授業を自分がしているんだということを反省することが必要。原因は担任にある、という意識を持たなければいけない。

今後も非違行為防止研修を継続していきます。

